

ランデス株式会社は「CUCO (クーコ)」に参画しています。



NEDO グリーンイノベーション基金事業「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」を実施するコンソーシアムの総称が「CUCO (クーコ)」に決定しました。

CUCOは、Carbon Utilized Concreteの頭文字から生まれた造語で、炭素を活用するコンクリートを意味します。

「2050年カーボンニュートラル社会の実現」という大きなゴールを目指し、グリーンイノベーション基金事業※のもと、鹿島建設・デンカ・竹中工務店をはじめとする55の企業・大学・研究機関がコンソーシアムを結成しました。本コンソーシアムは、2030年までを目標に、炭素を活用するためのコンクリート開発を進めていきます。

具体的には、コンクリートづくりにCO₂を活用するための技術開発を推進し、コスト低減を目指した製造システムの開発にも取り組みます。さらに、確立した技術の品質管理・CO₂の固定量を評価する手法の開発も行っています。

※グリーンイノベーション基金事業とは、「2050年カーボンニュートラル」の目標達成に向け、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が、研究開発・実証から社会実装までを10年間支援していく取り組みです。

CUCOホームページ
<https://www.cuco-2030.jp/>